

職場適応援助者（ジョブコーチ）の現状と課題に関するアンケート調査の概要

1. 調査の目的

ジョブコーチ養成研修修了者の活動や研修の活用状況等を把握し、養成研修等の見直しの検討材料とする。

2. 調査対象者

- 各養成研修機関の研修修了者に対してアンケート調査を実施
H29～R1 研修修了者 訪問型 1,721 人、企業在籍型 2,037 人 計 3,658 人
各機関ごとの対象者数は以下のとおり。

	訪問型	企業在籍型
計	1,721	2,037
高齢・障害・求職者雇用支援機構	677	1,203
ジョブコーチ・ネットワーク	423	397
大阪障害者雇用支援ネットワーク	149	137
くらしえん・しごとえん	244	249
全国就業支援ネットワーク	50	0
なよろ職親会	66	31
南高愛隣会	112	20

2. 調査方法

- Web 調査を実施。修了者各自が Web 調査サイトにアクセスし、回答。
- 各研修機関にご協力いただき、修了者に対して協力依頼を送付（メール又は郵送）

3. 調査時期

令和 2 年 8 月

4. 調査内容

(1) 基本属性

性別、年代、養成研修の受講機関・時期、就労支援等の経験、担当業務

【訪問型】所属機関の形態、機関／事業所／本人が行っている事業

【企業在籍型】所属機関の業種、特例子会社か否か、雇用障害者の障害種別

(2) ジョブコーチ支援等の業務について

期待される業務、業務状況、スキル不足を感じる事

関連資格の有無、助成金の活用の有無

【活動経験あり】JC と他業務の業務割合、JC としての活動状況

【活動経験なし】活動していない理由

(3) ジョブコーチ研修について

研修の受講動機、全般的な効果、役立っている／役立っていない理由

各科目が役立っているか、見直した方がよい科目

他研修の受講経験、今後受講したい研修科目、

(4) 制度に関するご意見

研修、助成金、その他に関する意見（自由記述）